

箕輪工業高校学園ニュース

(うえのばやしだより)

10月号

駆け抜けた熱い三日間
第42回 箕工祭

「BEST DAYS～思い出に残る熱い3日間～」をテーマに、10月21日より3日間の日程で箕工祭(文化祭)が全日制・定時制の合同で行われました。以下は箕工祭に寄せた全日制学友会長の言葉です。(パンフレットより抜粋)「第42回箕工祭への挑戦 ある1人の友人がこんなことを言いました。『オレなんて箕工祭っていても準備も当日にも居ても意味ないし。』その言葉を聞いたときは正直ショックでした。そこで僕は「居て意味ない人はいない。直接、企画に参加しなくて良い、例えばクラス展で出たゴミを片付けることでも協力したって言えるんだ。』その友人は次の日からハリボテの製作に参加してくれました。”居て意味ない人はいない。どんな小さなことでもやれば協力したって言える”この言葉が多くの生徒の皆さんに伝われば嬉しいです。」

当日はこの言葉通りになりました。全日定時を合わせた353人全員が協力し合い、本当に素晴らしい箕工祭を見事に作り上げました。写真からその盛り上がりが伝われば幸いです。



19年度入試情報

--- 前期選抜 ---



「平成19年度 長野県立高等学校入学者選抜の実施日程」が県教育委員会から発表になり、前期選抜は、平成19年2月5日に実施されます。本校の実施内容は下記のとおりです。

	募集 (予定)	前期選抜 募集枠	評価方法 (普通科、総合工学科共通)			備考
			調査書	面接	項目	
普通科	2学級	50%	比重	50%	50%	調査書の 内容、面接 の結果を総 合的に判断 する
総合 工学科	1学級	50%			志望動機、興味・ 関心、意欲、態度 表現力	

受験生の皆さん!!

君たちの熱意をこの学校で発揮してみませんか。
たくさんの受験生の志願をお待ちしています。

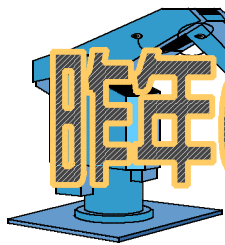
工業科復活か!?

- 多部制単位制への転換について「育てる会」が陳情書を提出 -

過日(9/29)、箕輪工業高等学校多部制単位制課程移行に関して地域や関係者の要望に沿い、「箕輪工業高等学校の未来を育てる会」(会長 平澤豊満箕輪町長)が、箕輪工業高等学校振興協力会、同窓会、同PTAと連名で村井県知事に陳情書を提出しました。陳情書は多部制単位制への転換を「関係者・地域等の合意を得て」積極的に推進していくことを決定した」としたうえで、具体的に以下の2事項を強く要請しています。

- (1) 箕輪工業高等学校多部制単位制課程の施設・設備の整備・充実を図るために十分な予算措置を行うこと。
- (2) 箕輪工業高等学校多部制単位制課程午前部に工業科1学級を設置すること。

陳情を受けて県教育委員会は現在、陳情内容をふまえて調査に入っており、その成り行きが注目されます。



昨年のリベンジ果たす!!

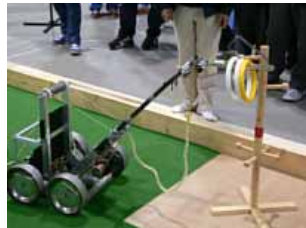
ロボット部 全国大会出場

10/7(土)下諏訪体育館で「ROBOCON in 信州」が開催された。

キャリー競技部門に出場した3チーム中1チームが堂々の3位に入賞し、全国大会への切符を2年ぶりに手に入れた。

この競技はリングを取り込み、ボールの枝にリングをかけていくもので、昨年の大会では全ての輪を掛けることに成功し、出場チームの中で最高得点を出したが、かすかにロボットが接触してしまったため失格となり大変悔しい思いをした。その生徒たちは卒業をしてしまったが、同じ「みのきち」の名前を受け継いだ今年のマシンが昨年のリベンジを果たす結果となった。(「みのきち」は代々受け継がれてきた名前)

この勢いで11月11日(土)から埼玉県で開催される全国大会での「みのきち」の活躍に期待したい。



学校長挨拶

朝夕の冷え込みが一段と厳しくなってきました。木々が色づき私達の目を楽しませてくれる季節です。

先週、本校学友会の最大の行事「第42回箕工祭」が盛大に開催されました。一般公開には大勢の方にご来校いただき誠にありがとうございました。また、木下区の皆様方からは、たくさんの力作を出品していただき箕工祭を盛り上げていただきました。全校を代表いたしまして、感謝申し上げます。

さて、高校改革プランですが、10/19(木)「箕輪工業高校の未来を育てる会」におきまして具体的転換案を提案させていただきました。信毎・長野日報・みのわ新聞に内容の一部が掲載されました。近々HPにも掲載させていただく予定であります。「一人ひとりに光をあて、一人ひとりが輝く学校」を目指して更に検討を進めてまいります。今後ともよろしくご支援をお願いいたします。

なるほど! 箕工

箕工の豆知識を紹介するコーナーです。

今月は教科書から世界へです。

「国境なき医師団」(MSF)をご存じですか。

国境なき医師団とは、非営利で国際的な民間の医療・人道援助団体です。緊急医療援助を主な目的とし、世界約70カ国を越える地域に年間約3,500人の医師、看護師、助産師らを派遣して、危機に瀕した人びとの救援活動を行っています。1971年にフランスで設立されました。

この団体に参加されている日本人医師の記事が本校1年生の英語の教科書に掲載されています。それに感銘を受けた現2年生は、教員の勤めもあり今年の1月から募金を始めました。

毎月どれくらいの金額が集まったのかを生徒たちに報告すると、必ず誰かが小銭を募金箱に入れます。これが現在までで総額6173円となり、補助を入れて12000円集まりました。

缶ジュース半分、うまい棒数本分を、額にすればわずかですが、気持ちは海の向こうへ届くはずですよ。

50円＝黄熱病、はしか、脳髄膜炎のワクチン2本分

50円＝栄養食4食分

皆さんも自販機の前で少し考えてみてはいかがでしょうか。

(本誌編集担当 y)

十一月の予定

10/30～11/17 読書旬間

2(木) 1年普通科施設実習
2年進路ガイダンス

4(土)・5(日) 高体連新人戦(後期)

9(木) 防災訓練

11(土) PTA研修視察

21(火)～24(金) 期末考査

30(木) 1年進路ガイダンス

箕輪工業高校ホームページ

<http://www.nagano-c.ed.jp/minoko/>

箕輪工業高校の情報が満載です。
是非、一度ご覧下さい。

学校に対するご意見・ご要望は
minoko@nagano-c.ed.jp

または 0265-79-2140(代表)
教頭鈴木までお願いいたします。